

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	総合運動公園再生修復事業			事業番号	36-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	みどり公園課	城所 昌男	

計 画 (P l a n)						
総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち		
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり		
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる		
		施策	36	みんなで楽しめる公園づくりの推進		
予算事業名	総合運動公園維持管理費					
事務区分〔選択〕	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	(選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成28年度 ～		終了年度	令和4年度	
関連法令等	都市公園法					
国・県の計画等				計画期間		
関連個別計画				計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	伊勢原市総合運動公園は、昭和63年に供用開始されて以来、施設の経年劣化が進んでいます。また、人口減少、少子高齢化、市民ニーズの多様化などの時代の変化に伴い、総合運動公園に求められる役割も変化しています。このような中、市民意識調査においても、大型遊具等が整備された子ども達が遊べる公園のニーズは高くなっています。					
目 的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市総合運動公園が、将来に渡り、市民の健康づくりや、憩いの場、誰もが楽しめる公園となるよう、総合運動公園再生修復基本方針に基づき、施設の整備を行います。					
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び公園利用者					
事業内容 (手段、手法など)	・総合運動公園再生修復整備方針に基づき、国の交付金を得ながら再生修復整備工事を実施し、令和4年度の完成をめざします。					
事業行程	項目		年度			
			令和3年度	令和4年度		
	施設整備		中央広場トイレ 自由広場舗装面		ジョギングコース等	
	供用開始		展望・子どもの広場		中央・自由広場	
目 標	【指標名】		年度			
			令和3年度	令和4年度		
	総合運動公園施設の整備	芝生広場附帯工事 展望広場・中央広場整備 (令和2年度)	中央広場トイレ、自由広場整備		自由広場等整備	



事業実施 (Do)

事業実施 (D o)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	国の令和2年度補正予算に基づく自由広場グラウンド等の整備を推進し、後期2箇年の事業完成を目指します。		
実施方法 〔選択・記入〕	☒ すべて直接実施 ☐ 左記以外		
	☐ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者
	☐ 補助金		補助先
	☐ その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	施設整備	中央広場トイレ等整備、自由広場整備	
	供用開始	供用開始	
実施した取組の内容	中央広場トイレ等整備工事、自由広場整備工事		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
	総合運動公園施設の整備	芝生広場附帯工事 展望広場・ 中央広場整備 (令和2年度)	令和3年度 令和4年度 中央広場トイレ等整備、自由広場整備

コスト	年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績			
	事業費合計 (a)		133,194		千円			千円		
	内訳	国県支出金 ①	66,100		千円			千円		
		地方債 ②	66,100		千円			千円		
		その他特財 ③	0		千円			千円		
		一般財源 (a)-①-②-③	994		千円	0		千円		
	国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金(都市公園等事業) 補助率:国1/2							
	その他特財の内容	受益者負担	☐ 有 ☒ 無		前回の改定時期					
		その他								
	人件費	正規職員	0.6	人	4,908	千円		人		千円
		その他の職員	0.4	人	1,216	千円		人		千円
		人件費合計 (b)	1	人	6,124	千円		人		千円
	トータルコスト (a)+(b)		139,318		千円	0		千円		
	単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位			単位	
			対象数	101,381		人				
		総事業費／対象数	1,374		円			円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	☒ 計画どおり (A) ☐ 概ね計画どおり (B) ☐ 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	総合運動公園再生修復整備方針に基づき、中央広場トイレ等整備、自由広場整備を実施し、計画通り進捗しました。
実施水準 〔選択・記入〕	☐ 他市より高い水準で実施 (A) ☐ 他市と同水準で実施 (B) ☐ 他市より低い水準で実施 (C) ☒ 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	中央広場トイレ等整備工事については、他市と同水準の整備を実施することができていますが、自由広場整備については、グラウンドの整備方法には、様々な方法があり、その利用方法によっても整備内容が異なることから、一律に評価することはできません。
有効性 〔選択・記入〕	☒ 高い (A) ☐ 普通 (B) ☐ 低い (C)	A	左記判断理由	中央広場のトイレ等整備、自由広場整備により、多くの来園者に公園の機能性、魅力が高まりました。
効率性 〔選択・記入〕	☒ 効率的に実施されている (A) ☐ 改善の余地がある (B) ☐ 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	国の交付金を活用し、効率的に実施しました。



取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しの上継続	事業推進上の課題	総合運動公園再生修復整備方針に基づき、最終年度となる整備事業の着実な完成を図ることが必要です。
令和4年度 of 取組方針		総合運動公園再生修復整備方針に基づき、休憩施設、ジョギング・ウォーキングコースの修復、案内サインの整備工事を着実に実施し、事業完成を目指します。 なお、事業の実施にあたっては、国の社会資本整備総合交付金を活用し、国、県と調整を図りながら、着実な事業の推進に努めます。		
所管部長による総評		自由広場及び広場付近にトイレが完成したことにより、スポーツや健康づくりがしやすい環境を整備しました。子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しむことができる魅力的な公園づくりは、本市の持続的な発展に欠かせないものであると考えますので、早期の完成をめざして取組を進めていく必要があります。 また、完成後も公園の魅力の向上や施設を良好に維持するため、利用者と共に継続的に取り組む必要があります。		